

活動番号

2

南越前エクスカージョン

古森 万結、秋山 友紀奈

■活動内容

【観光プランのPRツールの作成】

北陸新幹線を利用した本町への観光誘客を図るため、新幹線で敦賀駅を訪れた観光客向けの日帰り観光プラン（モデルコース）を作成した。

プラン作成にあたっては、若年層から高齢者までの幅広い世代をターゲットとし、町の観光地やグルメスポットを「南越前町の定額タクシー」を利用して数時間～1日で巡ることを想定した内容とした。

具体的には、北陸新幹線の開通を機に敦賀を新幹線で訪れる観光客に向けて「1区間500円！みなこいタクシーで巡る得トク越前ガニ」と題した日帰り観光プラン（モデルコース）のPRツール（チラシ）を作成し、南越前町における観光誘客・リピーター増加を図ることを目指した。

チラシを様々な場面で活用いただけるよう、観光連盟にデータを納品するとともに、人々の視線を集めるようなデザインとチラシには、南越前町観光モデルコースやカニを提供する店の一覧などを掲載したほか、電車の時刻表やタクシーの予約方法などが分かるよう掲載し、初めて来た方にも町を満喫してもらえるよう工夫した。

■町との関わり

【町内フィールドワーク】

→南越前町を2回（6月23日～24日、10月3日～4日）訪問し、情報収集や活動についての説明・協力依頼を行った。地域の方に温かく対応いただき、南越前町の「人」の魅力を感じる活動となった。

〔訪問場所〕

- ・今庄宿伝統的建造物群保存地区 ・sou's café ・Rosso ・杉休 ・南越前町役場
- ・Daisan ・道の駅山海里 ・北前船主の館右近家 ・中村家住宅 ・今庄タクシー 等

【チラシ作成にあたっての協力依頼等】

→「南越前町定額タクシー」を利用したモデルコースの提案を行うため、観光連盟とオンライン打合せを行ったり、タクシー事業者へ個別に電話やメール等での依頼を行ったりなど、作成に至るまで各方面との連絡・調整を重ねた。

■情報発信・共有

【関係者との連絡・調整】

活動およびその成果については、観光連盟やタクシー事業者の方々に相談・報告し、改善に向けたアドバイスをいただいた。特に、「南越前町定額タクシー」と「カニ」に着目した点については、南越前ならではのプラン（モデルコース）を作成するうえで良い着眼点であると評価いただいた。また、利用者がタクシーを確保できない場合に備えた解決策も必要であると助言いただいた。

【公式LINEの活用】

もう1つの活動である「南越前町同郷会」周知のために作成された「公式LINE」を活用し、フィールドワークの様子や活動の進捗状況の発信とあわせて町の魅力を募ったところ、LINEの登録者から様々な町の魅力について教えていただくとともに、多くの励ましのメッセージをいただいた。

■成果（変化）

当初、チラシを敦賀駅に設置することを目指していたが、各方面との調整に時間を要し、カニシーズンに間に合わせる事が困難となったため、計画を変更し、次年度以降のカニシーズンに向けたチラシ活用を図るため、観光連盟へのデータ納品を目指すこととした。

活動を通じて、課題を設定し解決する力や、異なる立場の方との対話力が身についたと考える。町が抱える課題を調査やヒアリングを通じて明確にし、それを解決するための方法を考え、判断する力が養われた。また、フィールドワークでは、役場や観光連盟の方々、町で活動されている方から直接話を伺う機会があり、多様な立場の方々とのコミュニケーション力も向上したと感じている。これらの経験を通じて、学内では得られない実践的な力を身につけることができた。

南越前町には、美しい自然や歴史的建造物、そして豊富な食材が存在し、町の方々はこれらの魅力を町外に発信し、観光客を呼び込もうと積極的に活動している。2回のフィールドワークを通じて、南越前町の方々の温かさを実感すると同時に、町の魅力を広め、知名度を向上させることの難しさも感じた。より多くの方に町へ訪れてもらうために、町の魅力を組み合わせ、南越前町ならではの取り組みを行うことが重要であると考えた。

